

# 未来の化合物を想像し、お客様のためにその作ること を支援する

## 会社

Bicoll は、強大な医薬品化学と組み合わせてバックアップされた植物小分子分野の専門家です。

本社：ミュンヘン

2000 年設立/従業員 40

## クライアント & パートナー

世界中の業界や研究機関との連携により、最初の製品を市場に送り出すことができました。卓越した科学技術と顧客サービスにより、当社は学術機関、公的機関、民間企業などさまざまな組織から信頼され、信頼できるビジネスパートナーになっています。

## 研究分野

### 製薬・バイオテック

抗ウイルス剤、抗てんかん剤、抗がん剤、心血管障害、オーファンターゲット

### 機能性食品

糖分低減、味覚調節、抗炎症

作物学：化合物の合成

化粧品：

抗炎症、抗酸化、美白



## 薬化学サービス

Bicoll は、最先端の化学技術を用いて創薬プログラムを加速します。幅広いターゲットクラス、並列合成能力、マイクログラムから数百グラムまでの生物活性化合物のカスタム合成、およびキログラムスケールまでの前臨床スケールアップ能力が含まれます。

ユニークな天然物アプローチ、その次の医薬品化学プログラム、および 20 年にわたる実績により、Bicoll は、バイオテック、製薬企業、主要研究機関から信頼される医薬品化学パートナーとしての地位を確立しています。

## 天然物サービス

Bicoll は、植物の二次代謝産物の専門家です。マイクロフラクションから始めて、植物抽出物を扱う際の既存の問題を克服することができます。Bicoll は、植物に含まれる単一の活性化合物の発見することに焦点を当てており、機能性食品、製薬、化粧品、農業などの研究プログラムに関連する出発点（化合物）となっています。

Bicoll の技術は、粗抽出物の化合物を極性部分と非極性部分に分離し、植物ごとに 96 ウェルフォーマットで化合物を届けます。このファインフラクションライブラリ(Bicoll Plant Profiles™)は簡単に溶解します。

## テクノロジー

BIFRAC

BILOBAC

BIPRESELECT

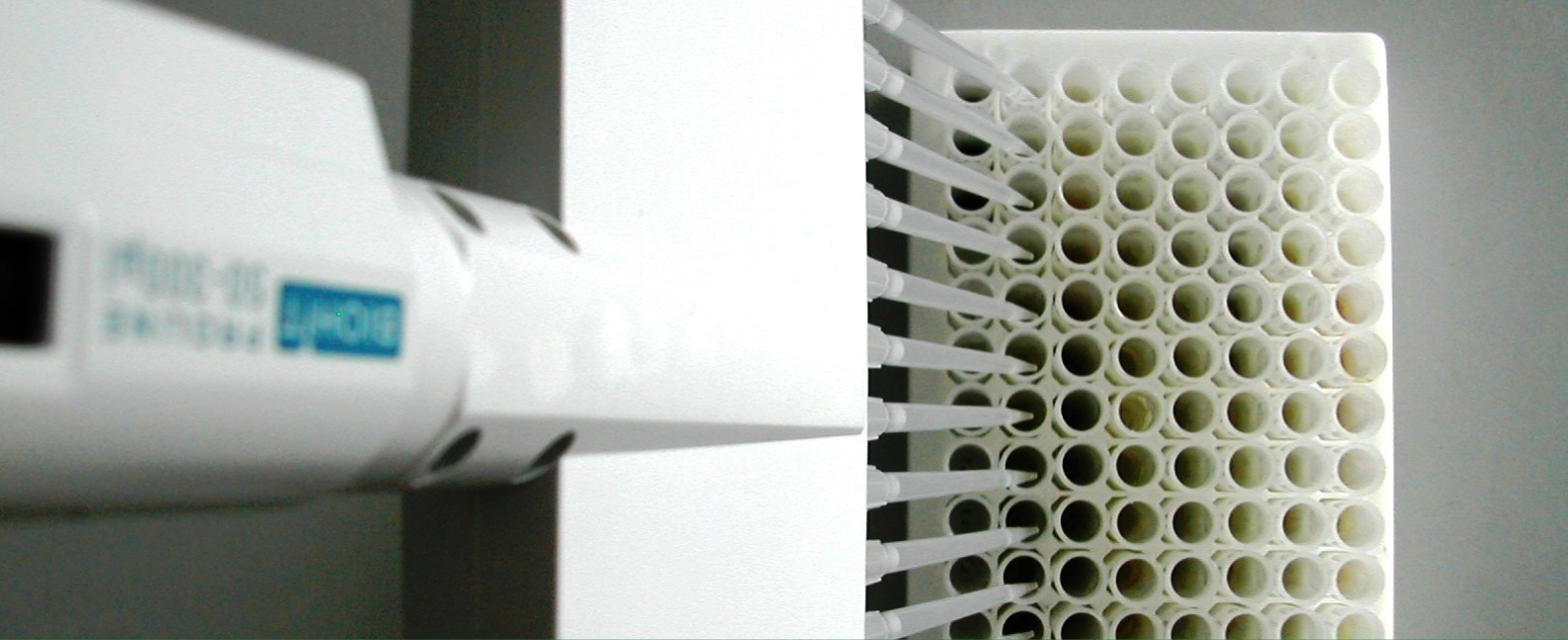
Bicoll Plant Profiles™

## 企業特許

2005 年 腫瘍細胞 [DE102005027796\(B4\)](#)

2017 年 味覚調節 [WO2018233841\(A1\)](#)

2021 年 応用中の味覚調節



2019 – 2022 (計画)	関節リウマチおよび乾癬性関節炎分野でPTIDプロジェクトを開始: 核内受容体に基づいて患者の指紋を作成し、新たな臨床候補を特定しました。
2018年 – 継続。	Bicollは、てんかんのモデルで痙攣を抑制する作用がある小分子を特定しました。さらなる前臨床試験が進行中。
2017 – 2021	SimLeapプロジェクト(CharitéとSymrise社と共同): 「中国から歴史的な原稿のデータマイニングによって特定される植物中の味覚活性小分子」。結果: 味覚を調整する可能性のある小分子がいくつか特定されました。2つの異なる化合物クラスが特許化されました。
2014–2017	EpicLeapプロジェクト: 新薬の出発点として40,000の歴史的な製剤 – 研究プロジェクトEpicLeapは、ドイツ連邦教育研究省から一部資金提供を受けています。結果: データベースの構築とテスト、およびさらなる前臨床開発のため、潜在的な植物やドラッグライク化合物の特定。
2013–2018	EpimiRNA(epimirna.eu)– 1,150万ユーロのEU資金提供コンソーシアム – てんかんの根本原因、この分野でのmiRNAの効果、てんかんに対する潜在的な薬剤候補を明らかにしました。
2013–2016	BicollとNaturalalphaはNutraceutical Research Allianceを拡張します。欧州資金による研究協力OLNORMEII。Bicollは欧州資金によるEuroTrans-Bioプログラムに270万ユーロのパートナーとして参加しました。本プロジェクトは、炎症性成分を伴う心血管疾患の予防と治療のため、新しいクラスの薬剤候補の開発に焦点を合わせています。結果: Bicollは、オーファンターゲットのため、高速な小分子リガンド検証方法を発表しました。
2011–2012	Bicollの革新的なフラグメントライブラリの概念により、Bicollの革新的なフラグメントライブラリのコンセプトにより、前臨床ですぐに使用できる新規リード化合物の同定が可能となる。BicollとCreluxは、共同開発した新しいフラグメントサービスプラットフォームを販売します。
2010	Bicollと欧州分子生物学研究所(EMBL)は、オーロラキナーゼ阻害剤の同定に関する共同研究プロジェクトの結果を発表しました。
2007–2009	Bicollは、Genfitとの新しい協力を署名することとERA-ネットワーク/欧州委員会によって320万ユーロの共同EuroTrans-Bioプロジェクトの部分的資金調達を発表しました。結果: BicollとGenfitは、炎症性疾患の活性化化合物の同定を発表しました – 共同プロジェクト「OLNORME」で、最初の候補化合物が核内受容体を脱離させる。
2006–2009	Ricerca Biosciences, LLC, USAとBicol Groupは、米国企業向けFTEサービスを含む重要な提携契約を締結しました。
2005	Bicoll は癌研究の分野で最初の特許を申請しました。
2004	Bicoll GmbHは、営業3年目に、昨会計年度に税引き後利益を生み出しました。
2003	カイ・ラモトケ博士は、Bicoll Biotechnology (上海)のゼネラルマネージャーに任命されている。
2001	Bicoll GmbHは、中国の一部であるBicoll Biotechnology (上海)を開設しました。
2000	Bicoll GmbHはドイツのミュンヘンで設立された。